



# 樹脂サッシ連窓方立

## 取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

## ▲注意

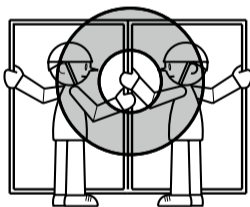
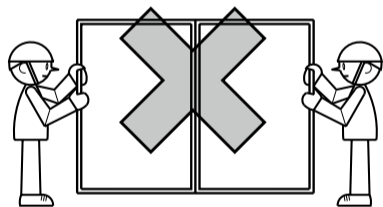
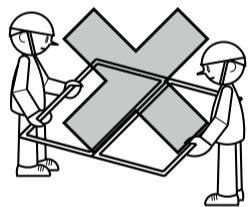
- 本製品は、組立て後の製品重量は最大50kgになります。施工は対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
- 下枠が垂下がり、障子が落下するおそれがありますので下記事項をお守りください。
  - ・必ず45×100mm以上の窓台（敷居）・30mm厚以上の間柱（ピッチ500mm以下）で開口部を作ってください。
  - ・指定のスクリー釘・木ねじで枠を固定してください。
  - ・開口部を付け枠などでふかす（調整する）場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
- 漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
  - ・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ（別売り）を張ってください。防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
  - ・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
  - ・サッシ枠回りの防水テープを張る前に、必ず上・下キャップ回りの防水補助シールのリケイ紙をはがしてください。
  - ・漏水の防止のため、指定のねじで必ず、上・下キャップを固定してください。

## 取付け上のお願

- サッシ本体の取付け・ガラスの入れ方などは各製品の取付け説明書をご覧ください。
- ソリ防止のため、ひなたを避け、できるだけ室内に保管してください。
- 樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
- 組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。


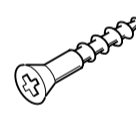
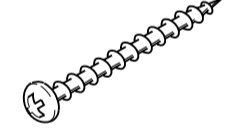
## 組立て後の取扱いとお願い

- 組立て後、枠を横にして持ったり、枠連結部に無理な力をかけたりしないでください。又、移動する場合は、立てたまま連窓方立部分をしっかり支持してください。ねじが抜けて破壊するおそれがあります。



## ねじ一覧表

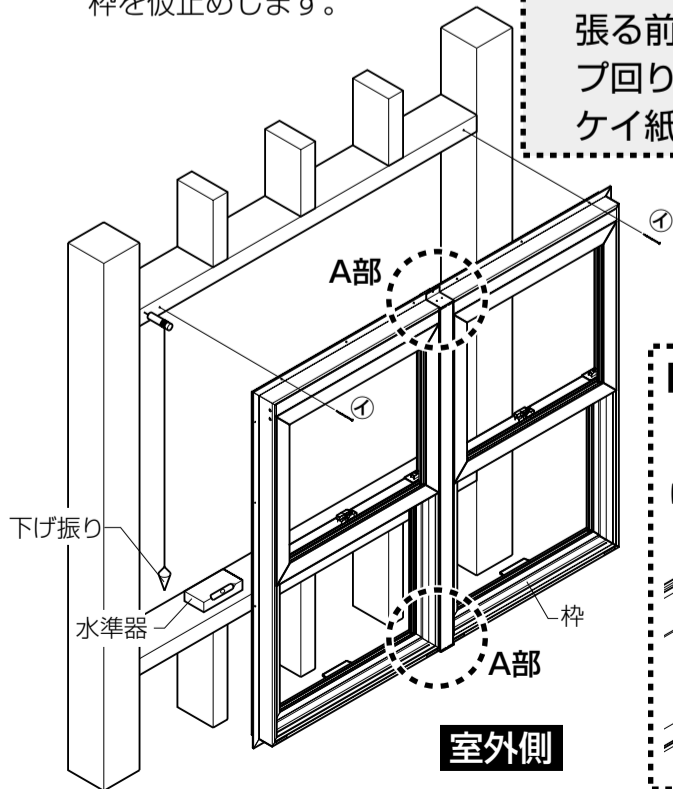
※㊦、㊧はサッシ本体同梱

㊦	㊧	㊨
		
スクリー釘 φ3×38	皿木ねじ φ3.8×38	ナベタッピンねじ (1種) φ4×35

## 取付け順序

### 1 枠の仮止め

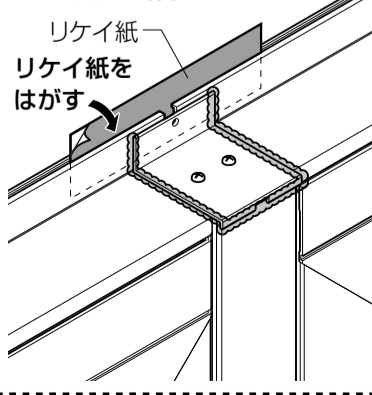
- 開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めます。



### ▲注意

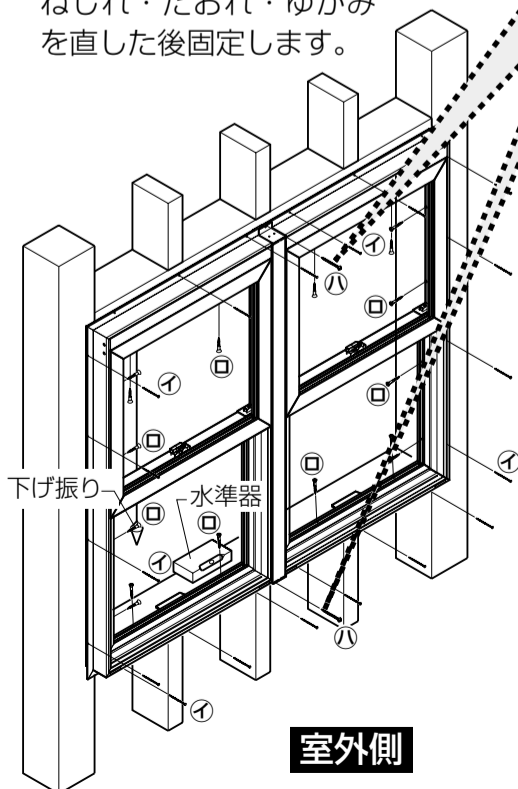
- サッシ枠回りの防水テープを張る前に、必ず上・下キャップ回りの防水補助シールのリケイ紙をはがしてください。

### ■A部詳細図



### 2 枠の調整と固定

- 下げ振り・水準器で枠のねじれ・たおれ・ゆがみを直した後固定します。

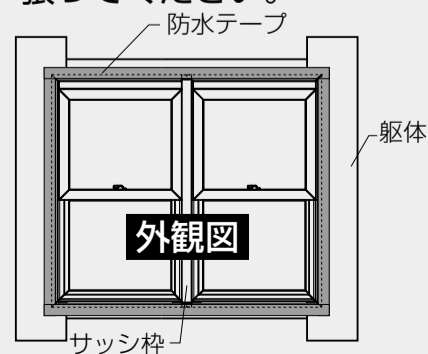


### ▲注意

- 漏水の防止のため、指定のねじで必ず、上・下キャップを固定してください。

### ▲注意

- 枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
- 本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ（別売り）を張ってください。



### 外観図